

## 令和8年度第1回 芳川小学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 2026年5月14日(月) 13時30分から15時00分まで
- 2 開催場所 芳川小学校 CSルーム
- 3 出席委員 鈴木幸彦、犬居和賀代、林容子、海老名俊樹、前島杏里、井本陽介
- 4 欠席委員 鈴木麻里
- 5 オブザーバー 袴田唯之(南陽協働センター)
- 6 学校 結城知則(校長)、影山重広(教頭)、鈴木由香(CS担当教員)、内田由佳(CSディレクター)
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 内田由佳
- 9 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、海老名委員を会長に推挙する旨の発言があり、海老名俊樹委員が会長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選出された海老名委員から、林委員を副会長に指名する旨の報告があった。

- 10 議長の選出 海老名俊樹会長が議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

### 11 協議事項

- (1) 学校運営の基本方針(グランドデザイン)について
- (2) いじめ防止等の基本方針について
- (3) その他

### 12 会議記録

司会の影山から、委員総数7人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。

#### (1) 学校運営の基本方針(グランドデザイン)について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- 先生たちが余裕を持って子供と向き合えるよう、保護者や地域の意識を変えていく必要がある。学校の「チーム対応」の様子が見えることは、保護者としての安心感に繋がる。
- 教職員がチームで子供を見る「チーム担任制」は、一人の担任に負担が集中せず、子供にとっても多様な先生の良さに触れられるため、今の時代に非常に合っている。
- 実際に教室でトラブルがあった際、担任が離れてもすぐに他の先生が駆けつけて対応してくれた事例を聞いた。学校全体で子供を見守る「チーム対応」の実践は、保護者にとって大きな安心感に繋がっている。
- 働き方改革において、先生の心身の健康は子供の学びの質に直結する。先生が余白を持って子供に向き合えるよう、保護者や地域も「学校がやるのが当たり前」という意識を捨て、先生をパートナーとして支える意識を持つ必要がある。
- 一方で、働き方改革が優先されることで子供の教育が疎かにならないかという保護者の懸念も理解できる。だからこそ、チーム対応のメリットや学校のビジョンを丁寧に発信し、保護者の理解と安心を得ることが重要である。
- 情報発信についても、デジタルツール(メール等)は見落としやすいため、大事なことは対面で伝えたり、分かりやすく可愛いデザインのパンフレットを配布したりするなど、手に取ってもらえる工夫をしたい。

## (2) いじめ防止等の基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づきいじめ防止等の基本方針について説明があり、委員から、以下の発言があった。

- 日頃の挨拶や声かけを通じて、子供が大人に話しやすい雰囲気を作ることが、早期発見・早期対応の第一歩になる。
- 人間が集まれば「いじめに近いこと」はどうしても起こりうるが、深刻化する前の小さなうちに解決することが何より重要である。そのためには、子供が先生や親、地域の大人など、誰にでも気兼ねなく話せる雰囲気作りが大切である。
- 自分たちが地域で子供に積極的に挨拶したり声をかけたりすることを継続していれば、ふとした時に子供から意外な悩みや情報が入ってくることもある。こうした日常の関わりが早期発見の第一歩になる。
- 「チームで子供を見る」という体制は、多くの大人の目で子供を見守ることになり、いじめの芽に気付きやすくなるだけでなく、子供たちにとっても「誰かが必ず見ている」という安心感や、いじめの抑止力に繋がると感じる。
- いじめの問題は学校対保護者という対立関係ではなく、あくまで子供の成長のために共に解決策を見つける「パートナー」としてのスタンスを、発信を通じて共有していくべきである。

## その他報告事項等

### (1) 「ほうがわクスノキ応援団」活動報告

- 学校支援コーディネーターより、1年生ツアーを実施し、新たに31名がボランティア登録、授業や行事での支援が順調にスタートしていることが報告された。

### (2) 夢育やらまいか事業について

- 学校より、CS予算を活用し、ボランティアへの「感謝する会」の開催や、栽培活動・環境整備のための備品購入を行う計画が示された。

### (3) 年間計画について

- 学校より、今年度は全4回の開催を予定。第3回(10月)には「子供が参画する学校づくり」の一環として、6年生の代表児童と委員との交流を計画していることが報告された。

## 連絡

司会から、次回の第2回協議会は、2026年7月1日(水)午後1時15分からCSルームで開催する旨の報告があった。